



「掃除は心を映す鏡」～清掃活動の意義を見つめて～

校長 浅見 正史

12月、年の瀬が近づくと、私たちは自然と“すす払い”や“大掃除”を思い出します。日本では古くから、掃除は単なる清潔のための作業ではなく、「心を整える行い」として大切にされてきました。これは、禅の教えにある「一掃除二信心」（最初にするべきは掃除で、信心（信仰）はその後という意味）という言葉にも表れています。掃除を通して心を磨き、謙虚さや感謝の気持ちを育むという考え方です。



学校における清掃活動も、実は長い歴史があります。明治時代には、学校を清潔に保つことが教師の責務とされていましたが、やがて教育的意義の高まりから、生徒自身が掃除を担うようになりました。この文化は、世界的にも珍しく、日本の学校教育の特徴です。

では、なぜ生徒に掃除をさせるのでしょうか。それは、掃除を通して「責任感」「協調性」「環境意識」など、教室では学べない大切な心を育てることができるからです。自分たちの学びの場を自分たちで整えることで、公共の場を大切にすることが自然と育まれます。教師が率先してほうきや雑巾を手にする姿は、生徒にとって何よりの学びとなります。掃除は、教えるものではなく、共に行うことで伝わる“生きた教育”なのです。

生徒の皆さんも、掃除を「面倒な作業」と捉えるのではなく、自分の心と向き合う時間として、また仲間と協力する機会として、前向きに取り組んでほしいと思います。きっと、教室の隅にたまったホコリを取ることで、心の中のモヤモヤも少しずつ晴れていくはずです。みんなの手でもっときれいな東中に！



【地域の皆様へ】

『学校部活動』から『地域クラブ活動』へ 指導者を募集しています！

さいたま市では、これまで学校が中心となってきた「部活動」を、地域と連携して行う「地域クラブ活動」へと段階的に移行する取り組みを進めています。これは、少子化や教職員の働き方改革を背景に、持続可能で多様な活動の場を地域とともに築いていくための新しいチャレンジです！

「地域クラブ活動」は、地域の団体や住民の皆さんが主体となって運営し、学校施設などを活用して活動します。また、教職員に加え、地域の指導者や企業の方々も参加可能となります。現在は、まず「休日の活動」から地域クラブへ移行を進めています。将来的には平日との連携も視野に入れています。

地域の子どもたちの成長を支える「地域クラブ活動」の指導者として、あなたの経験やスキルを活かしてみませんか？たとえば、昔、部活でスポーツや文化活動をしていた方、子どもと関わるのが好きな方、地域貢献に興味のある企業・団体の方、指導内容や活動頻度は相談可能です。明日を担う子どもたちの笑顔のために、また、未来の部活動づくりのためにあなたや地域の力を是非、お貸しください！

問合せ先：大宮東中学校 校長・教頭 TEL048-641-0808